

市長の言・ちまたのニュース

第5号

2018年3月25日

日本共産党根室市委員会

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

あきれはてる安倍政権！

望まれる「そだねー」と言える政治!!

二月のピョンチャン・オリンピックは、日本の選手団の中でも女子選手の大活躍に興奮した毎日でした。それと比べて、国会中継が映し出す安倍政権のあまりのひどさに多くの国民は、「怒り」や「もどかれ」まで「政治が『劣化』しているのか」と「あきれはてる」毎日です。あのオリンピック、「カー娘」の「そだねー」が伝えてくれたメッセージの對比で安倍政権のひどさが眼についた一ヶ月だったと思います。

「スリーアクト」

の安倍政権

「森友学園問題」めぐる報道がテレビ、新聞で流されているので筆者（神）があえてあれこれ書くより、読者の皆さんの方が詳しいと思います。

だから、「ここ」では3月19日のしんぶん「赤旗」毎日版に掲載された記事を紹介します。

18日の日曜日、東京新宿の集会記事「森友」に怒り 市民と4野党大宣伝「4000人『安倍政権返陣せよ』というの」が載っています。多くの発言者の中で、「アベ政治許さない」立

憲「デモクラシーの会」上智大学教授・中野晃一さんの訴えを紹介します。

「今回の件は、あまりにも分かりやすく下品で無責任です。国会で虚偽答弁、公文書の改ざん、その隠蔽（いんぺい）で『スリーアクト』ですよ。なぜまだバスターボックスに立とうとしているのか。もう『チエンジ』ですよ。あまり『国益』という言葉が好きではありませんが、さすがに心配です。（中略）政権担当能力がないんですよ。この社会を守って次の世代に引き継

ぐために、こんなでたらめな政治は変えなければいけません。桜が咲いたら安倍政権には散ってもらしましょう。」中野さんにみなさんも全く同感ではないでしょうか。

あの「カー娘」の「そだねー」の何とも言えない癒やされる雰囲気。戦術についてよくよく話し合い、みんなが納得したやり方が「そだねー」でした。国民の大多数が納得できる「そだねー」といえる政治の春が待たれています。

「の頃ごろ」と感じてくる日々...

「アベ政治許さない」は、先日「く」なつた反戦・前衛俳人といわれた金子兜太（とうた）さんが、安倍政権の下憲法違反の「戦争法」を強行しようとしていた時に、旧知の作家澤地久枝に頼まれて揮（う）ごう（筆をふる）うしたことです。私もこの言葉を常に胸に刻み「9条改憲NO! 全国3000万人署名」で地域を回っていますが、地域の皆さんから色々と聞かされる「なぜこんな世の中に?」と感ずることがあります。少しだけ書いてみました。

突然一年金差し押さえ

ある地域を回っている時のこと。半年ぶりの訪問でしたが「ああ、ちょうどいいところに来た。上がった、上がった」と言われテブルに座ると「こんなひどいことが・・・と見せられたのが、市役所から届いた「国保差し押さえ」の書類でした。もう一年以上前に他の地域に転居した長女さん分の滞納のこと。

我が家の「文化猫」?

妻の体調がよくなかった時があったので茶トラ猫を飼うことにしました。2年前の9月3日に我が家に来たので、妻が9と3をひっくり返し「ミック」と呼んでいます。もらった先が近藤敬幸さん。根室空襲研究会で「根室空襲を編集した「文化人」の一人。吾輩の先輩議員でもあった人、九条の会や自然保護運動などとの仲間。

そのため、友人の民生児童委員さんとも相談、月々年金の中から、五千円、三千円とわずかずですが、支払っていたそうです。十一月にも五千円を納入した直後の一月に十数万円の突然の差し押さえにびっくり。確かに滞納は良くないが、細々とした年金生活。どうにもならないものか?」と訴えられました。

また、ある所では一人暮らしのお年寄りの「除雪」近藤家の猫だっただけに中々の文化猫。交通事故で去年は約半年も病院通い。人間の治療費より高い年間医療費。夫婦の対話に参加、猫ジヤリシでの遊びは、3日同じことでは飽きる。独創的な遊びを要求し、「オヤツかい」といつと「ウン」と返事。

が今シーズンから市内に身内にいる人は対象外となり、2月始めの大雪で三日間フードが開かなくて「外に出られなかった」と聞かされました。

市役所の対応にも「アベ政治の影響が色々」と出始めているな」と感じる今日この頃です。
(故金子兜太氏の揮（う）ごう)

わざわざ十円切手ありがとうございました!!

このニュースを楽しみにしているという「気力で頑張るおばあちゃん」から励ましのハガキを頂いていますが、ハガキが62円になったのに「投函してから10円不足に気が付きました。」と二回分の10円切手二枚をわざわざ82円の封書でいただきました。本当にありがとうございました。

